



**F-SECURE**

## F-Secureアンチウイルス Linuxサーバ版 インストール手順

システム全体でF-Secureアンチウイルス Linuxサーバ版を動作させる場合、root権限でインストールする必要があります。

### インストール手順(tar.gzパッケージ)

1. 製品CDをCD-ROMドライブへ挿入してCD-ROMをマウントし、圧縮パッケージをハードディスクにコピーします。

```
# mount -r /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cp /mnt/cdrom/linux-server/fsav-srv-4.51.2312.tar.gz /tmp
# cd /tmp
```

ダウンロード版の場合は、弊社ホームページからパッケージをダウンロードし、/tmp等に保存します。

2. 圧縮パッケージを展開します。

```
# tar -zxvf fsav-srv-4.51.2312.tar.gz
# cd fsav-srv-4.51.2312
```

3. インストールパッケージを実行可能にします。

```
# chmod a+x fsav-srv-4.51.2312
```

4. インストールパッケージを実行します。

```
# ./fsav-srv-4.51.2312
```

5. インストーラがライセンスキーの入力を求めます。  
キーコードを入力して継続するか、Ctrl+Cを押してインストールを中止します。

6. インストーラが設定に関する質問を表示します。  
Enterキーを押すとデフォルト値に設定されます。

インストールが完了したらfsav -versionと入力し、製品・検査エンジン・ウイルス定義ファイルのバージョンを確認してください。

The logo for F-Secure, featuring the text "F-SECURE" in a bold, black, sans-serif font above a stylized shield emblem. The shield is composed of several overlapping geometric shapes in shades of purple and black.

## F-Secureアンチウイルス Linuxゲートウェイ インストール手順

インストールはrpmによって簡単に行うことができます。  
また、アップデートも同じ方法で行うことができ、以前の設定は引き継がれます。

### 全自動インストール(rpmパッケージ)

RedHat系のディストリビューションの場合、rpmパッケージを用いることで簡単にインストールできます。

RedHat系ディストリビューションとしては以下のものがあります。

- RedHat
- TurboLinux
- Vine Linux
- LASER5 Linux
- SuSE
- Linux Mandrake
- Linux MLD
- Kondora MNU/Linux
- LiveLinux
- Miracle Linux
- HOLON Linux
- Open Linux
- Cobalt Linux

インストールはroot権限で以下のコマンドを実行します。

```
# rpm -Uvh virusgw-XXX.i386.rpm
```

以上でインストールが完了し、Web管理画面が利用できます。